

「ハウジングサービス」および 「宮城AIデータセンター」の概要について

2026年7月24日
東北電力株式会社
株式会社ゲットワークス



より、そう、ちから。

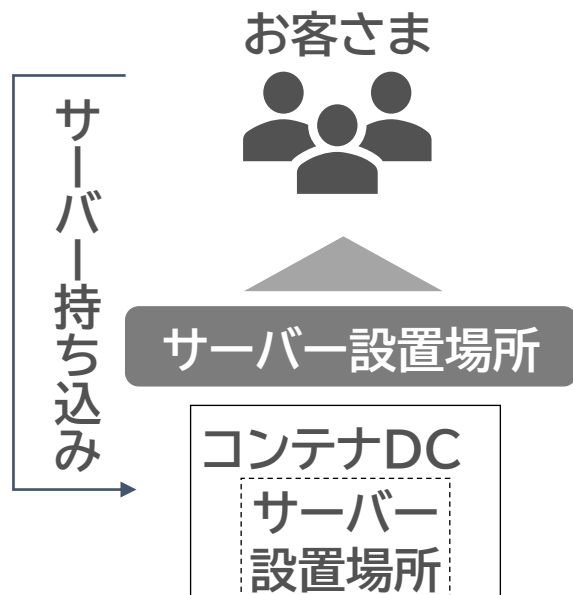
東北電力

×



- ✓ お客さまのGPUサーバーの設置場所を、宮城AIデータセンター内で提供するサービス
- ✓ AI向けの次世代型高性能GPUサーバー(NVIDIA製 H200、B300等)に対応
- ✓ コンテナ型のため、お客さまのご要望をふまえて使用電力等をカスタマイズ可能

サービスのイメージ



ご利用開始までのプロセス

- | | |
|-------|---|
| 要件確定 | 設置するサーバー、ラック台数、利用期間などを擦り合わせ |
| 御見積 | 確定した要件をふまえて、御見積を提示 |
| 契約締結 | 契約内容を協議、整い次第締結 |
| サーバ設置 | お客さまにてGPUサーバーを搬入、電気・回線などを接続
(東北電力立ち会い) |
| 利用開始 | 問題なくGPUサーバーが稼働できていることを確認でき次第、
ご利用開始(要件確定から利用開始まで概ね数カ月程度) |

お問合せ先 東北電力株式会社 DX推進部

TEL: 022-799-6111

メールアドレス: s.gpucloud.wz@tohoku-epco.co.jp

- ✓ 次世代型高性能GPUサーバーに対応可能なコンテナ型データセンター（竣工:2026年7月24日）
- ✓ 最新のGPUに合わせて、迅速かつ柔軟に構築可能

宮城AIデータセンターの主な特長

- ✓ 次世代型高性能GPUサーバーに対応した設備構成（安定稼働に必要な電源や高効率な冷却設備など）
 - ・増強可能な受電設備、予備設備を1台追加した空調設備の構成に加え、将来的な水冷対応を見据えた冷却設備を採用。
- ✓ 安定かつ低遅延（低レイテンシー）な通信環境
 - ・推論処理や分散計算など、大規模なAIワークロードにおいて、安定したデータ通信環境を提供。
 - ・複数拠点のクラウド基盤やデータセンターとの高速接続を可能とするネットワーク環境を整備予定。
- ✓ コンテナ型データセンターによる短工期と高い柔軟性を実現
 - ・従来型データセンターと比較して短期間での環境構築・利用開始を実現。
 - ・将来的なGPUの高性能化やサーバー増設にも柔軟に対応できる拡張性も備える。

宮城AIデータセンターの仕様

所在地	宮城県宮城郡七ヶ浜町	通信	1G×2回線（2027年度より10G予定）
利用単位	ラック単位/コンテナ単位の両方可能	セキュリティ	ICカード付扉、監視カメラ等
耐荷重	2t/m ²	災害リスク	全災害ハザードマップ対象外
受電	コンテナあたり50kW（増強も可能）	保守	24時間/365日 監視、即時駆け付け
空調	N+1冗長（予備設備1台）構成	その他	ご要望に合わせて使用電力等をカスタマイズ可能
冷却方法	空冷（将来的には水冷にも対応予定）		

- ✓ 国は2030年代のAI社会に向けて、データセンターの分散立地を検討
- ✓ 東北電力は国の方針に基づき、東北6県・新潟県を中心とした地域のDX推進を目指す

経済産業省・総務省「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合 中間とりまとめ3.0」より

2030年代のAI社会に向けた施策案(抜粋)

(1)データセンターの分散立地の更なる推進

- 地域におけるエコシステムを支える基盤としてのデータセンターの地域分散に向けた政策的支援
- あらゆる社会活動へのAI利活用と高度なサービスの実装を地域においても東京圏・大阪圏と遜色なく実現し、地域におけるAIの利活用やデジタル実装に貢献するため、データセンターの分散立地に向けた政策的支援策を早急に検討。

2030年代のデジタルインフライメージ

